

# イングリッシュラベンダー

科名 … シソ科

園芸分類 … 常緑小低木

ラベンダーは鮮やかな紫色と心地よい香りが魅力のハーブです。木本性ですが、草花として扱われることが多く、花壇の植え込みやコンテナ栽培などで楽しまれています。

北海道富良野のラベンダー畑ほどの花園は難しいにしても、一面に群生させると美しいものです。多くの系統（品種群）がありますが、花の美しさと香りのよさでいえば、イングリッシュラベンダーが随一です。しかし、北海道のような寒さには強い反面、高温多湿に弱く、暖地での夏越しは難しいところがあります。

## 置き場所

日当たりの良い場所で育てます。日照不足になると花付きが悪くなります。梅雨～夏は高温多湿を避けるため風通しの良い場所で管理します。ご購入いただいた鉢のまま観賞できますが、そのままにしておくと根鉢が回りすぎて生育にストレスを与えることになります。根鉢が回ってきたら日当たりが良く水はけの良い庭か、一回り大きな鉢に植え替えます。

## 植え替え

庭植えにする場合は水はけ、日当たり、風通しの良い場所に植え込んでください。完熟堆肥、苦土石灰、腐葉土などを混ぜ込みよく耕した土を下の方に敷き、苗の周りの土は肥料分を含まない土で植え込むようにしてください。

鉢に植え替える時は一回り大きな6～8号の鉢に植え込みます。土壌の適応性はあり、一般的には腐葉土5：赤玉（小粒）5に苦土石灰大さじ1杯を混ぜて植え込みます。鉢底には鉢底石又は赤玉の大粒を敷くと水はけが良くなります。

**注意**：日中、強い日差しの下で植え替えをすると、植物の根を傷めてしまい、枯れてしまう場合があります。植え替えは必ず涼しい夕方、また曇りか雨の日に行うようにしてください。

## 日照と温度

15～20℃が適温です。乾燥した日当たりの良い場所を好みますので、年間を通して屋外で管理してください。梅雨時などは雨の当たらない軒下に移してください。鉢植えの冬越しは日だまりに置き、風除けをしてください。寒さが厳しい場合は根元にワラ又は枯れ草を敷いて根の保護に努めます。出来れば透明のビニールシートなどで覆いをしてあげてください。

## 水やり・肥料

土の表面が乾いたらたっぷりと与えます。冬場は控えめにしてください。

**夏場は炎天下の中で水を与えると株を傷めてしまいます。水やりは涼しい朝晩に行ってください。**

肥料は鉢のまま楽しむ場合は、ご購入後2～3カ月後に緩効性肥料を与えてください。

すぐに庭に植え替える場合は、植え込んだ後に緩効性肥料を与えます。

## 剪定

花後は地上部から10～15cm位の所まで刈り込みを行います。

また、傷んでいる葉や枝はその都度こまめに刈り取ってください。

## ※注意

室内で栽培、管理されていた場合、急に強い日差しに当たると花が枯れることがあります。

半日陰から徐々に環境に慣らしてください。